

秋葉山しんぶん

新年特別
号外!



1/16(日)秋葉神社の鎮火祭と、2/5(土)錦生小学校のフォーラム開催のお知らせ!

平成 23 年 1 月 発行 : NPO 赤目の里山を育てる会 <http://akame-satoyama.org/>

文化庁「地域伝統文化総合活性化事業」に上三谷区が採択されました!

このたび、「地域の伝統文化を活かしたまちづくり」を推進する、文化庁地域伝統文化総合活性化事業に上三谷区が採択され、白山・秋葉神社の獅子神楽の復活と秋葉山の整備を進めていくことになりました。これにともない、地元の区長さんをはじめとする住民の方、行政、有識者など、さまざまな立場の人たちをメンバーとする研究委員会が発足しました。

獅子舞などの復活を通して地域内外の人たちとの交流の機会をつくり、地域の活性化に貢献できるような活動に取り組んでまいります。約 50 年前に途絶えた獅子神楽が上三谷のお祭りで再び舞われ、人が行きかう地域になりますよう、ご協力をお願いいたします!

NPO 法人 赤目の里山を育てる会 理事長 伊井野雄二

【地域伝統文化総合活性化事業】

地域に伝わる伝統文化の活性化や、復興等のため、各地域の主體的、総合的な取組みを支援することにより、有形・無形の歴史的な文化遺産を活かしたまちづくりや伝統文化の確実な継承と地域の活性化に資することを目的として実施されている文化庁の事業。

研究委員会にて、地域活性化につながる活発な議論が始まっています!

これまでの開催経緯、話題など

研究委員会は今年 8 月に発足し、これまで 3 回の会議を開催しています。錦生小学校の門から見える秋葉山の活用や、獅子神楽の復興などを通じた地域活性化を目指し、議論を続けていきます。

第 1 回研究会
9 / 11

主旨、進め方
スケジュール
役割分担 等

秋葉神社の秋祭
10 / 11

白山神社の本祭
黒田の獅子神楽
11 / 1 ~ 3

取材・調査

第 2 回研究会
11 / 26

・秋葉信仰の起源
・秋葉山の今昔
・黒田の獅子神楽
と伝承の意義

第 3 回研究会
12 / 20

・活性化事例(中
世城郭等活用)
・獅子神楽実演、
フォーラムの概要

獅子舞実演
(鎮火祭当日)

1 / 16

鎮火祭に併せ、
獅子舞を実演

フォーラム
開催(錦生小)

2 / 5

講演会、伝統芸
能コンサート

研究委員のご紹介(以下、順不同、敬称略)

【地元代表者】区長、氏子総代、山林所有者、地域住民

【近隣関係者】近隣区長

【神社関係者】白山・秋葉神社宮司

【有識者】櫻井 治男(皇學館大學教授)、
尾本 頼彦(能楽研究者、相愛
大学非常勤講師、名張こども能楽
離子教室代表)、
地元郷土史研究家

【行政関係者】名張市総務部市史編纂室、
名張市地域政策室 他

【事務局】赤目の里山を育てる会、
プラネット・フォーまちづくり推進機構

【コラム 1 : 名張の昔話】

「上三谷と竜口との間に秋葉さんという山が高くそびえているんです。この山に古くから秋葉神社がまつられておりましてな。毎年一月十二日(今では十五日)には、伊賀や大和、それに伊勢方面からも、わらじばきでお参りする人々でいっぱいだったんです。登り道にのぼりの旗なんか立てて、それはそれはにぎやかだったんですのや。女の子らは、屋台でおはじきを買ってもらうのが楽しみでしたんや。-略-秋葉さんの山に昔、遠州(静岡県の西部)からやって来た秋葉坊主という悪い坊主がおりましてな。この秋葉坊主が、秋葉さんの宝物を全部売り払って、酒に替えて飲んでしまったんですのや。」



『続なばりの昔話』昭和 59 年 4 月 21 日発行、三重県立名張高等学校郷土研究部編集より抜粋

獅子神楽の復活にむけて

白山神社の獅子神楽

上三谷区における獅子神楽がいつから舞われていたのかは不明ですが、現存している“御神楽料”の記録によると、昭和33年10月21日までは、青年団によって白山神社の本祭りの祭の“渡り”という儀式に合わせておこなわれていました。

時代の経過とともに、若い担い手が減り、ついには行われなくなった獅子神楽ですが、当時使われていた立派な獅子頭は、今でも大切に神社で保管されています。



お知らせ 秋葉神社鎮火祭にて、獅子舞を実演！

秋葉神社の鎮火祭で、獅子舞を実演します！

NPO赤目の里山を育てる会の会員・宇賀神さん(名古屋在住)を中心としたメンバーが、上三谷の獅子舞の復活に挑戦しています！地域によって踊り方が微妙に異なる名張の獅子神楽。まずは、黒田区の獅子神楽保存会のご協力を得て、黒田流の獅子神楽を基本に勉強中！1月16日の鎮火祭に併せ、参道入口付近の道路脇にテントを張り、その成果を御披露目します。

かつて上三谷でも鳴り響いていた懐かしい太鼓の音を目印に、獅子舞を楽し見にお立ち寄りください！！

日時：**2011年1月16日(日)**秋葉神社鎮火祭

獅子舞は以下のスケジュールで、一回につき約10分の実演をおこないます

10:30～

11:30～

12:30～

13:30～

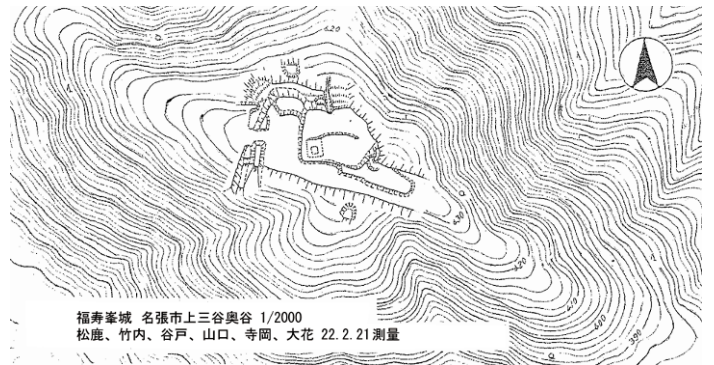
展示は常時おこなっています！

場所：秋葉神社参道入り口



【コラム2：秋葉山の歴史】

秋葉山の山頂には削平地があり、周辺には土塁や堀切の跡が残っています。かつて、黒田の悪党と言われた土豪によって、砦やのろし場として使われていた様子がしのべられます。



出展：『古城雑記』2010.3.8，伊賀中世城館調査会

また、江戸～明治時代にはこの場所に秋葉神社が祭られており、明治41年に矢川の春日神社に合祀されるまでは、お正月12日と10月の祭日には、参道の入り口に立つ、一の鳥居から、山頂の社殿まで急坂1kmの松並木道は往還の人々で長い行列が続いていたそうです。



山頂の様子：手水鉢跡(左)、屋根瓦(中)、山頂の標識(右)



黒田の保存会の練習に参加し、獅子舞の魅力にはまってしまうました！格好良く舞えるよう、頑張ります！！

舞い手代表：
宇賀神さん(赤目の里山を育てる会)

お知らせ 錦生小学校にてフォーラムを開催！

今年度の活動報告のフォーラムを2月5日 錦生小学校体育館で開催します！

上三谷地区のお祭りや名張の獅子神楽などの貴重な伝統文化について、みなさまのご協力を得てこれまで調べてきたことをご報告します！

また、名張こども能楽囃子教室による、お囃子の演奏や、黒田獅子神楽保存会と赤目を育てる会若手メンバー宇賀神さんによる獅子舞の実演などをおこないます！

日時：**2011年2月5日(土)**14:00～16:45

内容：講演会、市姉妹・お囃子コンサート など

場所：錦生小学校体育館

お問い合わせ 事務局では、皆様からの問い合わせにお答えしております。関係資料や詳細な情報が必要な方は、**【赤目の里山を育てる会 tel:0595-64-0051 鶴田まで】** 随時お問い合わせください。